

3 焼き物づくりを伝えた水野源左衛門^{げんざもん}

源左衛門は、瀬戸^{せと}（愛知県瀬戸市）に生まれましたが、



水野源左衛門座像

1645（正保^{しょうほ}2）年に会津藩主保科正之^{ほしなまさゆき}に召し抱えられ会津にきました。

源左衛門は、たいへん苦勞して陶土をさがし、ついに^{かんのんやま}観音山によい陶土を見つけました。そして、^{とうき}陶器を焼き始めたのが会津本郷焼のはじまりです。

殿様のりっぱな茶碗^{ちやわん}、大皿^{おおざら}、置きものなどをつくって

会津本郷焼の基礎^{きそ}を築^{きず}きました。



大皿